

事業番号	08 04 23	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	乳用牛群検定普及定着化事業			担当課	部局	農政部	
					課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	S50 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<p>○多くの酪農家は、毎月牛群検定を自ら実施して乳量、乳質等に関するデータを活用した飼養管理をおこない乳量乳質の向上が図られている。</p> <p>○繁殖管理においては種付け適期が把握でき、バランスよい交配で優秀な牛群づくりが進んでいる。</p> <p>○牛群検定を実施している酪農家は、経産牛1頭当たり乳量が、年平均で9500kgに達している。</p>											
現状	<p>○乳用牛群検定実施農家は105戸で、酪農家の26%程度となっている。頭数は約4300頭で全頭数の35%であり、都府県平均の45%よりやや低い。</p> <p>○一方、飼料価格の高騰などから酪農家の生産性を高める努力がさらに必要で、その取組には牛群検定が欠かせない。</p> <p>○検定データは複雑多岐にわたるため成績データを活かしてきれていない場合が多い。</p>											
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 家畜改良増殖法により、国、県が積極的に取り組むこととされており、専門的技術を持った職員が情報分析等を実施して指導に当る必要がある。・家畜改良増殖法					県民との協働による実施：困難					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)											
	<p>○ 乳用牛群検定農家への情報提供と巡回指導の開催 延べ80戸以上</p> <p>○ 牛群検定情報の活用研修会の開催 年7回継続実施</p> <p>○ 乳用牛群検定の普及拡大 プラス3戸</p>											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H26実施内容	H25 (当初)	H26 (要求) (予算案)						
		○牛群検定推進のための情報分析センターの運営 ○検定実施農家への情報提供	直接	○牛群検定情報分析センターの運営 家畜改良事業団からの情報収集と分析 分かり易い牛検情報の加工と提供 ○検定実施農家への取りまとめ情報提供 ○要請農家への巡回指導 ○牛群検定活用研修会の開催 ○牛群検定の普及推進	443	439	439					
	合計			443	439	439						
事業コスト	区分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況				
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標
		当初予算	532	493	443	439	439			目標	成果	
		補正予算	0	0	0			技術改善巡回指導	延べ70戸	延べ80戸		
		合計(A)	532	493	443	439	439	活用研修会の開催	年7回	年7回		
	Aの財源	国庫支出金						牛群検定農家の拡大	新規加入3戸	新規加入3戸		
		県債										
		その他()										
		一般財源	532	493	443	439	439					
	決算額(B)	532	463									
概算人件費	職員数(人)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35						
	概算人件費(C)	2,890	2,890	2,890	2,890	2,890						
概算事業費(B(A)+C)	3,422	3,353	3,333	3,329	3,329							
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)						
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善												
要求からの主な変更点	要求どおり											